

公益財団法人安城市学校給食協会
令和3年度第2回評議員会議事録

- 1 開催日時 令和4年3月23日（水）午後2時から午後3時10分
- 2 開催場所 安城市さくら庁舎2階 第35会議室
- 3 評議員数等
 - 総評議員数 6名
 - 出席評議員数 6名
 - 出席評議員 三星元人、中村麻理、近藤邦子、稲垣善幸、黒柳二三子、石川朋幸
 - 出席理事 石川良一（理事長）、宮川 守（副理事長）

4 事務局

神谷秀直（事務局長）、鈴木公伸（事務所長）、荒川 智（北部調理場施設長）、大見千里（中部調理場施設長）、鈴木栄一（南部調理場施設長）
榎本幸枝（協会栄養士）、北越里佳（事務局）、久野 武（事務局）

5 報告事項

- 報告1 令和3年度補正予算（第1号）について
- 報告2 令和4年度事業計画及び収支予算について
- 報告3 安城市学校給食協会経理規則の一部改正について
- 報告4 重要な使用人の選任について
- 報告5 役員・評議員合同会議について

6 会議の概要

(1) 理事長あいさつ

多忙の中、評議員会に出席いただき有難う。新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の期間終了直後であるが、感染予防対策を行って第2回評議員会を開催することとした。今年度も残りわずかであるが、3月3日の中学校の卒業式、3月18日の小学校の卒業式を無事に行うことができた。保育園・こども園の卒業式は明日3月24日に行う。子どもたちの楽しみである給食は、小中学校が今日3月23日まで、保育園は3月30日まで提供する。

この1年間の給食事業を振り返ると、新型コロナウイルス対応に明け暮れた1年であった。一昨年令和2年2月28日の小中学校の全国一斉臨時休業の日から、すでに2年と23日が過ぎた。昨年12月には、オミクロン株の出現により再び感染者が増加し、小中学校と保育施設では一部閉鎖を行う状況となったが、給食調理場では、日ごろの衛生管理をさらに徹底し、休むことなく子どもたちに給食を提供し続けることができた。

本日は、5つの報告をさせていただく。その中の報告2の「令和4年度事業計画及び収支予算について」は私から概要を申し上げる。給食協会の来年度予算には、今年度と比較して3千万円余の減額の22億6千万円余を計上している。一番大きな費用は、物資購入事業の11億6千万円余である。1日あたりの給食

の材料費は、小中学校で約500万円、保育園等で約200万円と大きな額となっている。このほかの事業では、人件費等の総務事務事業で6億1千万円余、調理場の管理運営事業で2億4千万円余を計上している。また、小中学校の配膳事業で1億3千万円余、食育推進事業で180万円余を計上している。今年度は、新北部調理場の開設準備費用等があったが、来年度は、アレルギー対応の費用等で総務事務事業費は1千万円余の増となっている。また、食育推進事業では、新たに市政施行70周年記念事業として、「給食レシピコンテスト」を実施する。

(2) 理事長の職務の執行状況の報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応と新北部調理場の円滑な運営のために力を注いできた。公益目的事業の食育推進事業では、コロナの影響で一部の行事が開催できなかったが、子ども達から募集した「思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージ」は、11月に皆様に見ていただいたとおり、子ども達の給食への思いと調理員への感謝にあふれた作品ばかりで、私自身も給食に携わる者として大いに元気づけられた。予算の執行状況については、報告1「令和3年度補正予算（第1号）」で説明をするが、総額で9千4百万円余の減額を予定している。（理事長はこの報告後に公務により退席した。）

(3) 出席数の確認

事務局長より、評議員全員が出席であり、定款で定める決議に必要な過半数の出席があることから、会が成立することを確認した。

(4) 議長の選出

定款の規定に基づき、出席した評議員の互選により三星評議員を議長に定めた。

(5) 議事録署名人の選出

定款の規定に基づき、議長の三星評議員と出席した評議員の中から黒柳評議員及び石川評議員を議事録署名人に定め、議案の審議に入った。

(6) 三星議長あいさつ

副市長の立場から挨拶させていただく。日頃は市政へのご理解ご協力いただき感謝している。相変わらずのコロナ禍で、まん延防止は3月21日までだが、愛知県では引き続き厳重警戒で引き締めを図っている。この2年で大きな社会への影響があり、生活苦、貧困、DV、児童虐待の増加など特に女性や子供に影響が大きいと感じる。楽しいはずの学校生活も制約を受け、給食は楽しい時間のはずであったが、黙食ということになっている。早く以前のようにマスクのいない楽しく友達と過ごせる状況に戻ってほしいと祈っている。最近心を痛めているのはロシアによるウクライナ侵攻である。ウクライナはヨーロッパの穀倉地帯で小麦をはじめとした食料品の値上がりによる給食への影響も懸念される。昨日3月22日に令和4年度の市の当初予算が総額7022千万円で可決された。市制70周年の節目の年である。いろいろな事業の予定があり、給食協会では地元野菜などを使って給食レシピコンテストも行うことになっている。市では南部・中部調理場には空調設備・LED照明などの改修のための設計の予算が付いている。また、旧北部調理場の解体のための設計も含まれている。北部調理場は最新の設備ではあるが、給水関係等の不具合も出

てきており修繕の予算をあげている。北部の建設にあたっては設計・本体工事・電気工事・管工事などそれぞれを入札して業者選定しており、このやり方は地元の業者が入りやすいのだが、今後は調理場のような特殊な用途のものは設計施工一体型やPFI事業も視野に入れたと思うが、地元業者が選ばれ難くなる面もある。こういったことで、市としても安全な給食を実施するにあたってしっかりと対応していきたい。また今日の会議とは関係ないことではあるが、中京テレビのゴリ夢中という番組で4月に安城市が取り上げられる予定なので皆様にもご覧いただきたいと思う。

報告1 令和3年度補正予算（第1号）について

事務局長より、補正の要因として、期末における執行見込額がほぼ確定してきたことにより、不用と認められる額を減額補正する旨を説明した。

補正額は収入支出それぞれ94,700千円を減額し、収支予算の総額を収入支出それぞれ2,203,663千円とし、収支予算の科目の区分及び当該区分ごとの金額は「令和3年度補正予算（第1号）」によることを令和3年度補正予算書に基づき説明した。

議長より報告1の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

石川評議員

令和3年度補正予算書の説明書について、調理場管理運営事業の委託料で1,750万円の減額の理由欄に「予定していた新北部業務が不要となったため」とあるが、具体的にはどのようなことか。

事務局長

委託料の予算には、空調設備、ボイラー設備、排水処理施設等の保守点検費用等を計上していたが、新北部調理場の新たに設置した設備や厨房機器には、6か月から1年間の保証期間があったため、保守点検費用が不要となり減額している。

石川評議員

新型コロナウイルス対策について、調理場では日ごろから対策を徹底していたと思うが、コロナ関連で休まれた職員は何人か。また、休む人が多い場合の対応について、マニュアル等で定めていたか。

事務局長

昨年の6月7日に濃厚接触者が1名出てから昨日3月22日までに濃厚接触者が25名、感染者が14名、検査結果待ち1名、合計41名が出勤停止となった。職員の感染者は全て1月以降で、2月3日の時点では、北部で4人、南部で5人の出勤停止者があり、大変先行きを心配したがこの日がピークであった。休む人が多

い時の対応ではマニュアルを作成し、調理員の15%以上が休む場合は、早出、残業、他場からの応援、献立変更で対応する。20%を超える場合は、休業すると定めていたが、幸い、コロナ休業者は10%以内で収まった。給食に携わる皆が、「自分が原因で5千食、1万食の給食が中止になっては大変だ。」ということで、生活全般に気を使って過ごした結果だと思う。

石川評議員

小中学校や保育園がコロナでお休みになった場合の給食の食材はどうしていたのか。キャンセル等はできたのか。また、ロシアのウクライナ侵攻によって、エネルギー、小麦、魚介類等の価格が上がると言われているが、給食物資の価格が高騰した場合は、どのように対応するのか。

事務所長

新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等は前日に決定されることが多く、食材のキャンセルができない物も多かった。そのままでは損失が大きくなってしまいが、本市の給食は3調理場で献立がズレているので、例えば北部でキャンセルできなかったコロッケを翌週の南部に廻し、南部のコロッケをキャンセルしてもらうなどの工夫をして、損失を最小限に留めている。牛乳は2日間学校の冷蔵庫に保管してもらい、キャンセルすることができた。

次のウクライナ情勢による給食物資の価格高騰であるが、小麦の価格が上がると多くの加工品価格が上がるので、影響は避けられないと考えている。しかしながら、賄材料費は学校行事で給食を実施しなくなった分が余裕としてあるため、給食の実施には困らないと考えている。ただ、例年はいただいた給食費の100.3%以内で執行しているが、それは難しくなるので、教育委員会と市負担部分の拡大を協議している。

石川評議員

今後、物価上昇が続いた場合には給食費の値上げも検討されると思うが、物価上昇分に対する市の緊急支援や助成など考えていただけるように要望したい。

他に質疑はなく令和3年度補正予算（第1号）についての報告は終了した。

報告2 令和4年度事業計画及び収支予算について

事務局長より、収支予算の総額を収入支出それぞれ2,265,765千円とし、事業計画及び収支予算の科目の区分及び当該区分ごとの金額は「令和4年度事業計画書及び収支予算書」により説明を行った。また、資金調達及び設備投資の見込は、「資金調達及び設備投資の見込を記載した書類」により説明を行った。

事務所長より、公益目的事業の事業計画について「令和4年度事業計画書及び収

支予算書」に基づき説明を行った。

議長より報告2の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

石川評議員

事業計画書および収支計画書12ページの管理費の手数料欄に、採用試験手数料とあるが、今年度の応募と採用の状況はどうであったか。

事務局長

令和4年度に向けて、ボイラーや施設保守を行う施設作業職員1名と調理を行う給食調理職員7名の採用を行った。9月の募集時には、施設作業職員には8名、給食調理職員には18名の方の応募があった。コロナの影響か、例年になく多くの方の応募があり、良い人材が採用できたと思う。

中村評議員

給食レシピコンテストについて、募集はいつ頃を予定しているのか。私の学校の学生にも伝えておきたいと思う。

事務所長

5月2日から7月29日までが募集期間で、市内の公民館と福祉センターにチラシを配布するほか、協会のホームページから募集要項をダウンロードできるようにする。市内在住・在学の方を対象としており、最優秀賞を受賞したレシピをアレンジし、令和5年2月に給食で提供する。

他に質疑はなく令和4年度事業計画及び収支予算についての報告は終了した。

報告3 安城市学校給食協会経理規則の一部改正について

事務局長より、安城市学校給食協会の経理規則の一部を改正することについて、改正前と改正後の比較表により説明を行った。

議長より報告3の説明について質疑を求めたところ、質疑はなく規則の一部改正についての報告を終了した。

報告4 安城市学校給食協会の重要な使用人の選任について

事務局長より、下記の者の選任について説明を行った。

記

事務局長 鈴村 公伸 現給食事務所長

議長より報告4の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

石川評議員

学校給食協会では5年間勤められてきた神谷事務局長の思いなどを聞きたい。

事務局長

毎日2万3000食の給食を子ども達に届けるということで、大切な仕事に5年間携わることが出来て良かった。コロナもなんとか乗り切ってここまで来られた。ありがとうございました。

他に質疑はなく安城市学校給食協会の重要な使用人の選任についての報告は終了した。

報告5 令和4年度役員・評議員合同会議について

事務局長より役員・評議員合同会議は、令和3年度限りとする事について、報告書のとおり説明を行った。

議長より報告5の説明について質疑を求めたところ、質疑はなく令和4年度役員・評議員合同会議についての報告を終了した。

議長は、以上をもって議案の審議を終了した旨を述べ、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名及び押印する。

令和4年3月 日

議 長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩